

県立洲本実業高等学校東浦校 学校評価(平成22年2月実施)対応策

*保護者・生徒は2年

2010.2.24

記入:各項目評価欄ABCD欄に○を1カ所記入する。 A:よくできた B:できた C:あまりできなかった D:できなかった

領域	評価の観点	番号	評価実践項目	評価	東浦校				総計		割合		分析傾向	問題点	対応	前回比
					教職員	/9人	学校関係者(外部)	/4・5人	/14人	保護者	生徒					
学校運営	開かれた学校づくり(学校)	1	学校の状況が地域・家庭に伝わっていますか	A	1	11.1%		0.0%	7.1%	9.4%	10.3%	概ね伝わっているが、なお努力が必要である。	学校新聞の内容をより充実させる。	前回よりははじめた新聞への折り込みで広く知らせていく。	一緒	
				B	7	77.8%	4	80.0%	78.6%	62.5%	66.7%					
				C	1	11.1%	1	20.0%	14.3%	25.0%	17.9%					
				D		0.0%		0.0%	0.0%	3.1%	5.1%					
		2	学校は地域・家庭と交流を進めていますか	A	4	44.4%	2	40.0%	42.9%	15.6%	20.5%	学校行事への地域や保護者の参加が減少気味である。	行事参加への時間的余裕が少なく なっている。	クラス減の状況の中で、行事を行う必要があるので、地域・保護者に対しては、早めに知らせて行事参加を依頼する。	低下	
				B	4	44.4%	2	40.0%	42.9%	53.1%	48.7%					
				C	1	11.1%	1	20.0%	14.3%	28.1%	28.2%					
				D		0.0%		0.0%	0.0%	3.1%	2.6%					
		3	学校評議員の意見が学校に活かされていますか	A	3	33.3%	1	20.0%	28.6%	調査なし		意見を取り入れた動きができています。			一緒	
	B			6	66.7%	4	80.0%	71.4%								
	C				0.0%		0.0%	0.0%								
D				0.0%		0.0%	0.0%									
生徒指導	4	生徒は指導事項をよく守っていますか	A	2	22.2%		0.0%	14.3%	12.5%	17.9%	毎月の生徒指導目標で、振り返りシートによる自己分析が進んだ。	感覚的な問題点の捉え方から、数的に具体的な問題点が明らかになってきた。	引き続き振り返りシートの活用で、生徒自身が努力できるようにする。	低下		
			B	7	77.8%	5	100.0%	85.7%	65.6%	48.7%						
			C		0.0%		0.0%	0.0%	18.8%	30.8%						
			D		0.0%		0.0%	0.0%	3.1%	2.6%						
	5	先生と生徒のコミュニケーションはとれていますか	A	1	11.1%	1	20.0%	14.3%	18.8%	15.4%	職員によって生徒・保護者の感じ方・対応が異なる。	職員の指導の方向性と、生徒・保護者の受けとめ方に差異がある。	職員に対する生徒指導研修を深めていく。	低下		
			B	7	77.8%	4	80.0%	78.6%	40.6%	46.2%						
			C	1	11.1%		0.0%	7.1%	37.5%	30.8%						
			D		0.0%		0.0%	0.0%	3.1%	7.7%						
進路指導	6	教科指導は生徒の進路実現に役立っていますか	A		0.0%		0.0%	0.0%	21.9%	15.4%	生徒の学習進捗状況にバラツキがある	生徒の学習進捗度に合わせた指導が十分でない。	習熟度別の少人数指導を進めていく。	低下		
			B	5	55.6%	4	100.0%	69.2%	43.8%	43.6%						
			C	4	44.4%		0.0%	30.8%	31.3%	35.9%						
			D		0.0%		0.0%	0.0%	3.1%	5.1%						
	7	学校は進路選択の幅を広げる努力をしていますか	A	2	22.2%		0.0%	15.4%	21.9%	17.9%	進学希望者は指定校を選択する傾向、就職に関しては、求人手控え傾向にある。	キャリアガイダンスが不十分である。	生徒の希望をよく聞き、生徒の特性に応じたアドバイスを 行う。	低下		
			B	5	55.6%	3	75.0%	61.5%	50.0%	51.3%						
			C	2	22.2%	1	25.0%	23.1%	25.0%	28.2%						
			D		0.0%		0.0%	0.0%	3.1%	2.6%						
教職員の資質向上	8	教員各自は専門性の向上に努力していますか	A	2	22.2%		0.0%	15.4%	15.6%	10.3%	専門性の向上に努力がみられる。			向上		
			B	6	66.7%	4	100.0%	76.9%	62.5%	59.0%						
			C	1	11.1%		0.0%	7.7%	18.8%	28.2%						
			D		0.0%		0.0%	0.0%	3.1%	2.6%						
	9	地域・家庭と円滑な関係を築こうとしていますか	A	1	11.1%		0.0%	7.1%	18.8%	5.1%	一部の保護者にしか、学校の指導方針が理解されていない。	学校の指導方針が伝わりきっていない。	学校の指導方針を学校新聞などで伝えていき、意見を 求めていく。	低下		
			B	6	66.7%	5	100.0%	78.6%	46.9%	53.8%						
			C	2	22.2%		0.0%	14.3%	31.3%	35.9%						
			D		0.0%		0.0%	0.0%	3.1%	5.1%						
危機管理体制の整備	10	個人情報の扱いについて教員の意識は高いですか	A	5	55.6%	4	80.0%	64.3%	18.8%	33.3%	意識を高めている。			一緒		
			B	4	44.4%	1	20.0%	35.7%	59.4%	43.6%						
			C		0.0%		0.0%	0.0%	18.8%	17.9%						
			D		0.0%		0.0%	0.0%	3.1%	5.1%						
	11	非常事態や事故に対する教員の意識は高いですか	A	6	66.7%	4	80.0%	71.4%	12.9%	25.6%	危機管理意識が高い。			一緒		
			B	3	33.3%	1	20.0%	28.6%	58.1%	51.3%						
			C		0.0%		0.0%	0.0%	25.8%	17.9%						
			D		0.0%		0.0%	0.0%	3.2%	5.1%						

記入:各項目評価欄ABCD欄に○を1カ所記入する。

A:よくできた B:できた C:あまりできなかった D:できなかった

領域	評価の観点	番号	評価実践項目	評価	東浦校				総計		分析傾向	問題点	対応	前回比	
					教職員	/9人	学校関係者(外部)	/5人	/14人	保護者					生徒
2 教育課程	教科の計画と学習指導	12	生徒の実態に合った授業計画ができていますか	A	1	11.1%		0.0%	7.7%	12.5%	0.0%	生徒の理解度に大きな差がある。	理解度に合わせた指導の展開が不十分。	理解度に合わせた習熟度別学習を行う。	低下
				B	6	66.7%	3	75.0%	69.2%	46.9%	44.7%				
				C	2	22.2%	1	25.0%	23.1%	34.4%	52.6%				
	D				0.0%		0.0%	0.0%	6.3%	2.6%					
	13	基礎・基本を大事にした教科指導ができていますか	A	3	33.3%	1	25.0%	30.8%	9.4%	12.8%	生徒の理解を確認できないまま指導が進められている。	ついていけない生徒が理解不足のまま、回復の時間がない。	習熟度別学習を進めるとともに、必要に応じて補習を行う。	低下	
			B	5	55.6%	3	75.0%	61.5%	53.1%	51.3%					
C			1	11.1%		0.0%	7.7%	31.3%	33.3%						
D				0.0%		0.0%	0.0%	6.3%	2.6%						
14	解るまで教える学習指導の体制ができていますか	A	3	33.3%	1	25.0%	30.8%	16.1%	15.4%	生徒の理解を確認できないまま指導が進められている。	ついていけない生徒が理解不足のまま、回復の時間がない。	習熟度別学習を進めるとともに、必要に応じて補習を行う。	低下		
		B	2	22.2%	1	25.0%	23.1%	38.7%	33.3%						
		C	4	44.4%	2	50.0%	46.2%	38.7%	43.6%						
		D		0.0%		0.0%	0.0%	6.5%	7.7%						
商業科の特色	15	商業科としての特徴はよく表れていますか	A		0.0%	1	25.0%	7.7%	28.1%	30.8%	商業科の特徴をもっと出す必要がある。	検定取得時に生徒の達成感が表れていない。	選択科目の編成替えて、重点的に資格が取れるようにする。	低下	
			B	8	88.9%	3	75.0%	84.6%	53.1%	46.2%					
C			1	11.1%		0.0%	7.7%	15.6%	23.1%						
D				0.0%		0.0%	0.0%	3.1%	0.0%						
16	検定取得の為の指導がされていますか	A	1	11.1%	2	50.0%	23.1%	34.4%	38.5%	検定指導が十分と感じていない生徒・保護者がいる。	検定に向けて長期的な意識付けが不足している。	少ない時間を有効活用する検定指導が必要。	一緒		
		B	7	77.8%	2	50.0%	69.2%	37.5%	46.2%						
		C	1	11.1%		0.0%	7.7%	25.0%	15.4%						
		D		0.0%		0.0%	0.0%	3.1%	0.0%						
3 課題教育	防災・安全教育	17	防災教育についての指導は適切にされていますか	A	3	33.3%	2	50.0%	38.5%	19.4%	23.1%	防災意識は高い。			一緒
				B	6	66.7%	2	50.0%	61.5%	51.6%	56.4%				
				C		0.0%		0.0%	0.0%	25.8%	15.4%				
	D				0.0%		0.0%	0.0%	3.2%	5.1%					
	18	生徒の安全が学校内外で確保されていますか	A	4	44.4%	2	50.0%	46.2%	18.8%	7.7%	注意喚起をしすぎて、一部の生徒に不安を与えている。	外部からのいたづらが増えている。	生徒・保護者との情報の共有化。	低下	
			B	5	55.6%	2	50.0%	53.8%	50.0%	46.2%					
C				0.0%		0.0%	0.0%	25.0%	38.5%						
D				0.0%		0.0%	0.0%	6.3%	7.7%						
19	生徒と教員の安全に対する意識は高いですか	A	3	33.3%		0.0%	23.1%	15.6%	7.7%	注意喚起をしすぎて、一部の生徒に不安を与えている。	外部からのいたづらが増えている。	生徒・保護者との情報の共有化。	低下		
		B	5	55.6%	4	100.0%	69.2%	53.1%	56.4%						
		C	1	11.1%		0.0%	7.7%	28.1%	33.3%						
		D		0.0%		0.0%	0.0%	3.1%	2.6%						
人権教育	20	生徒の人権はよく守られていますか	A	4	44.4%	2	50.0%	46.2%	18.8%	12.8%	教員から注意を受けるとき、きつと感じている傾向の生徒が多い。	生徒指導の重点を生徒に充分理解させていない。	重点目標などについて、理解を深めさせるようにする。	低下	
			B	5	55.6%	2	50.0%	53.8%	43.8%	51.3%					
C				0.0%		0.0%	0.0%	34.4%	25.6%						
D				0.0%		0.0%	0.0%	3.1%	10.3%						
21	教職員の人権に対する意識は高いですか	A	2	22.2%	1	25.0%	23.1%	16.1%	17.9%	教職員の人権意識は高いが、生徒の感じ方との間にギャップがある。	生徒の感じ方と教職員の感じ方とのギャップがある。	集会やホームルーム活動で社会規範の大切さを知らせる。	一緒		
		B	5	55.6%	3	75.0%	61.5%	51.6%	51.3%						
		C	1	11.1%		0.0%	7.7%	29.0%	25.6%						
		D	1	11.1%		0.0%	7.7%	3.2%	5.1%						
各種事業等	22	体験活動や地域貢献活動は活発ですか	A	1	11.1%	1	25.0%	15.4%	18.8%	15.4%	地域貢献活動が活発とは言えない。	教員主導の活動となっており、生徒主体となっていない。	生徒が何ができるかを考えて、活動していく。	低下	
			B	5	55.6%	2	50.0%	53.8%	46.9%	46.2%					
C			3	33.3%	1	25.0%	30.8%	25.0%	33.3%						
D				0.0%		0.0%	0.0%	9.4%	5.1%						
23	地域のニーズに合った活動となっていますか	A	1	11.1%		0.0%	7.7%			行事消的になっている。	地域のニーズを把握していない。	地域の意見を聞き取りして活動する。	低下		
		B	3	33.3%	1	25.0%	30.8%								
		C	5	55.6%	3	75.0%	61.5%								
		D		0.0%		0.0%	0.0%								
健康・安全教育	24	健康的で望ましい生活習慣の教育はされていますか	A	2	22.2%	1	25.0%	23.1%	21.9%	15.4%	生徒の理解ができていない。	生徒の理解と実行に大きな差がある。	年間を通じて、生徒・保護者への注意をうながす。	低下	
			B	6	66.7%	3	75.0%	69.2%	56.3%	46.2%					
C			1	11.1%		0.0%	7.7%	18.8%	35.9%						
D				0.0%		0.0%	0.0%	3.1%	2.6%						
25	生徒の体調管理に配慮されていますか	A	5	55.6%	3	75.0%	61.5%	21.9%	10.3%	冷暖房器具に対する生徒の不満がある。	冷暖房器具が全教室に配置されていない。	冷暖房器具にたよらず、自己管理できるよう指導する。(衣服などで調整)	低下		
		B	4	44.4%	1	25.0%	38.5%	46.9%	46.2%						
		C		0.0%		0.0%	0.0%	28.1%	33.3%						
		D		0.0%		0.0%	0.0%	3.1%	10.3%						

兵庫県立洲本実業高等学校

東浦校保護者様

兵庫県立洲本実業高等学校東浦校

校長 鎌田 志恵雄

平成21年度 東浦校短期実践活動について

早春の候、保護者のみなさまにはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は東浦校教育にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年度も地域の皆様に学校関係者としてご意見を伺う学校評議員会やPTA役員会を通してご意見をいただきました。また、生徒と保護者の皆様にも協力いただき学校評価アンケートを実施し、学校の教育活動にどのような気持ちをもって頂いているかを分析することにしました。

これらを踏まえ、東浦校最終の生徒として誇りの持てるようにするべく、すぐ出来ることから実践してまいります。

つきましては、今年度の分析・問題点把握・対応等をご覧いただき、温かく見守っていただければ幸いに存じます。学校の動きはホームページや配付プリントで随時お知らせしております。

今後ともよろしく願い申し上げます。

○平成22年度に向け重点を置く内容

1	教科指導を生徒の進路実現に役立てられるようにします。
2	基礎・基本を大事にし、生徒の実態に合わせ解るまで教える教科指導を展開します。
3	防災・健康・安全教育を更に進めていきます。
4	生徒が主体的に考え活動する体験活動や地域貢献事業をしていきます。

1. 進路を保障する

実践項目	主たる推進担当
教育課程の見直しや生徒の面談等の充実	進路指導・学年

2. 授業の充実を図る

実践項目	主たる推進担当
習熟度別・少人数学習体制の整備	教務 各教科
類題の反復学習でわかるまで教える学習指導	

3. 地域のニーズにあった特別活動を展開する。

実践項目	主たる推進担当
地域の意見を聞き取りして活動する。	総務 PTA

4. 学校の状況の地域・家庭への伝達・報告

実践項目	主たる推進担当
学校だより等で、様々な情報を伝える。	総務 学校新聞担当